資料3

東京都予算に対する要望

重点項目7, 8, 9

2026年9月8日定例記者会見
東京都医師会　土谷明男

公益社団法人 東京都医師会

東京都予算に対する要望

7. 医療経営状況調査の継続と
   東京の医療レベル維持のための支援

8. 医療介護福祉をまとめた通信訓練の実施

9. 医療DXの推進

医療経営状況調査の継続と
東京の医療レベル維持のための支援

医療経営状況調査の継続と
東京の医療レベル維持のための支援

経緯・背景

- 令和6年 病院の経営危機に対しての要望
- 令和7年度 地域医療確保に係る緊急・臨時支援事業
  - ✓入院患者1人当たり1日580円
- 要件｜都が行う調査への協力

医療経営状況調査の継続と東京の医療レベル維持のための支援

「地域医療に関する調査・分析等業務委託報告書」

- □令和8年3月公表
- □都内病院の経営は厳しい
- □令和8年度も支援事業を実施
  - ✓入院患者1人当たり1日500円

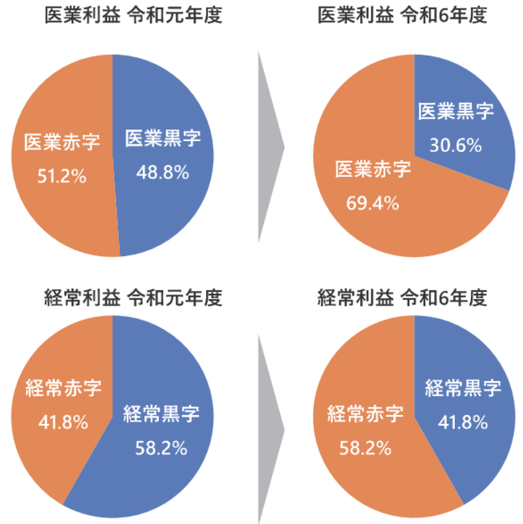
図表　都内病院全体の経営概況

病院全体の経営概況

		令和元年度	令和５年度	令和６年度
全体	施設数	541	576	581
	医業利益率	△ 1.5%	△ 6.1%	△ 5.8%
	医業赤字割合	51.2%	63.7%	69.4%
	経常利益率	0.5%	△ 2.8%	△ 3.3%
	経常赤字割合	41.8%	53.0%	58.2%
うち一般病院	施設数	326	353	357
	医業利益率	△ 3.6%	△ 9.1%	△ 7.6%
	医業赤字割合	58.0%	72.0%	75.6%
	経常利益率	△ 1.5%	△ 5.6%	△ 5.1%
	経常赤字割合	46.6%	61.2%	64.1%
うち療養型病院	施設数	137	143	144
	医業利益率	3.1%	0.0%	△ 2.5%
	医業赤字割合	38.0%	46.9%	57.6%
	経常利益率	4.6%	2.5%	0.1%
	経常赤字割合	33.6%	38.5%	45.1%
うち精神科病院	施設数	57	65	64
	医業利益率	0.0%	△ 2.6%	△ 3.4%
	医業赤字割合	47.4%	60.0%	62.5%
	経常利益率	2.7%	0.8%	△ 0.3%
	経常赤字割合	31.6%	43.1%	53.1%
うちその他の病院	施設数	18	11	12
	医業利益率	△ 0.4%	2.0%	△ 2.2%
	医業赤字割合	33.3%	36.4%	58.3%
	経常利益率	1.0%	2.9%	△ 1.8%
	経常赤字割合	38.9%	27.3%	58.3%

※ 医業利益率＝医業利益÷医業収益×100（平均値）、経常利益率＝経常利益÷医業収益×100（平均値）

黒字／赤字割合（全体）



https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo_hoken/tiikiiryoutyousa

医療経営状況調査の継続と
東京の医療レベル維持のための支援

東京都の行った「地域医療に関する調査・分析等業務委託報告書」

- 都内病院の経営｜依然として厳しい状況
- 調査と支援事業の継続を要望する

医療介護福祉をまとめた通信訓練の実施

医療介護福祉をまとめた通信訓練の実施

東京都医師会の実施している災害研修会

- 東京JMAT研修会｜年３回　　＊JMAT：Japan medical association team
  - ✓事前学習
  - ✓トリアージ
  - ✓被災地・支援JMAT活動等
- 区市町村災害医療コーディネート研修会｜年２回
  - ✓事前学習
  - ✓地域の被害想定
  - ✓フェーズごとの図上訓練等

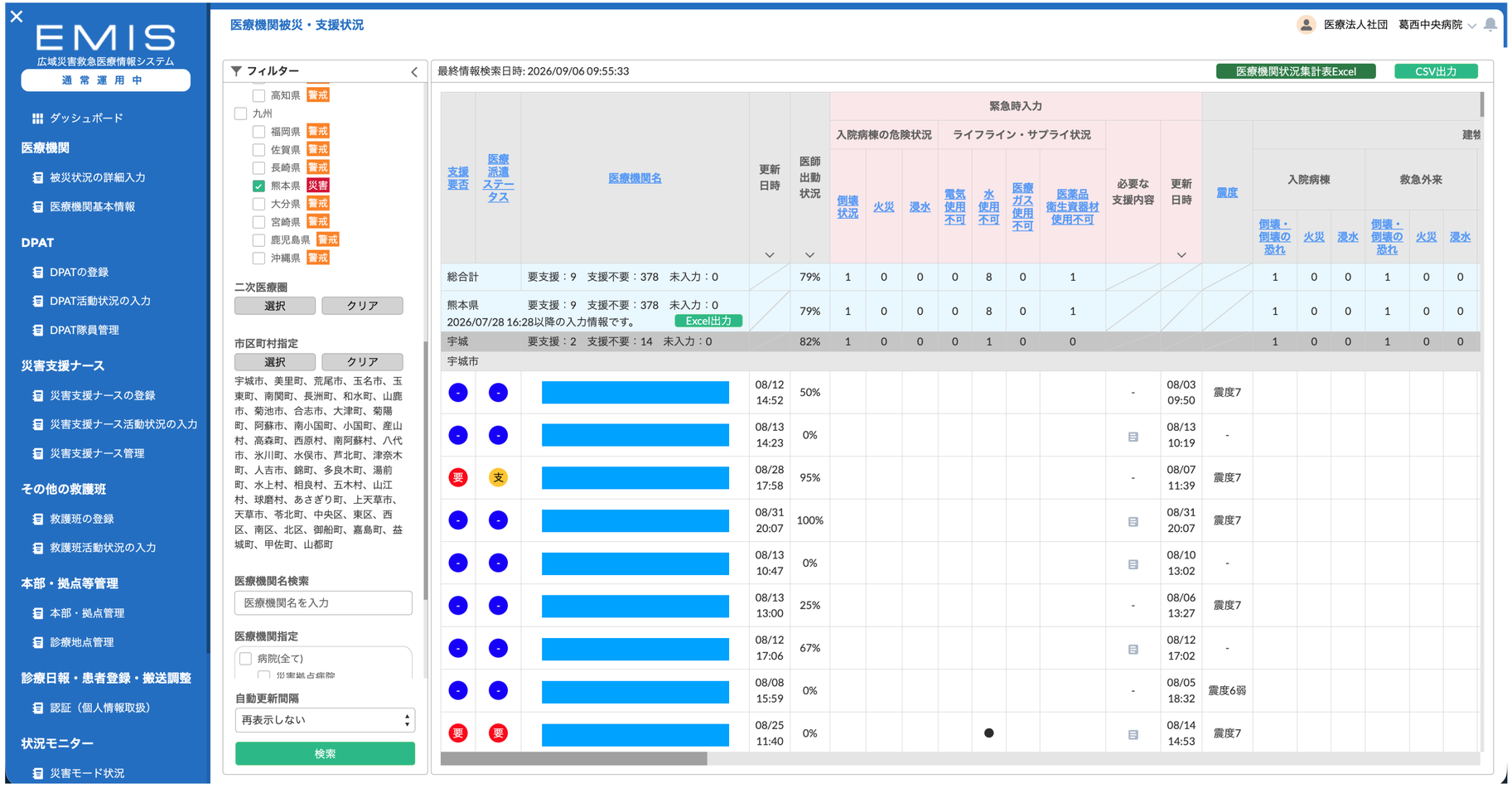
医療介護福祉をまとめた通信訓練の実施

経緯・背景

- 発災後、まず行うべきこと｜状況把握
- 医療においては広域災害救急医療システム：EMISが実装されている

医療介護福祉をまとめた通信訓練の実施

EMIS｜広域災害救急医療情報システム　　病院と有床診療所のみ



医療介護福祉をまとめた通信訓練の実施

東京都の高齢者施設と障害者施設の数と定員

◘災害関連死をいかに減少させるか｜災害弱者対策

	高齢者施設	障害者施設	高齢者施設定員	障害者施設定員
区部	1,575	1,579	95,428	9,643
多摩	812	1,447	54,759	11,817
計	2,387	3,026	150,187	21,460
総計	**5,413施設**		**171,647人**	

R7.4.1現在

医療介護福祉をまとめた通信訓練の実施

D24H　災害時保健医療福祉活動支援システム

- EMIS、保健所、避難所、福祉施設等のリアルタイムの情報共有
- ライフライン、震度分布・浸水域、道路情報の可視化
- 避難所に対しての調査（栄養、感染症等）
- 一つのシステムで情報の集約ができる
  - ✓システムの乱立｜情報連携が困難　ログインの手間

医療介護福祉をまとめた通信訓練の実施

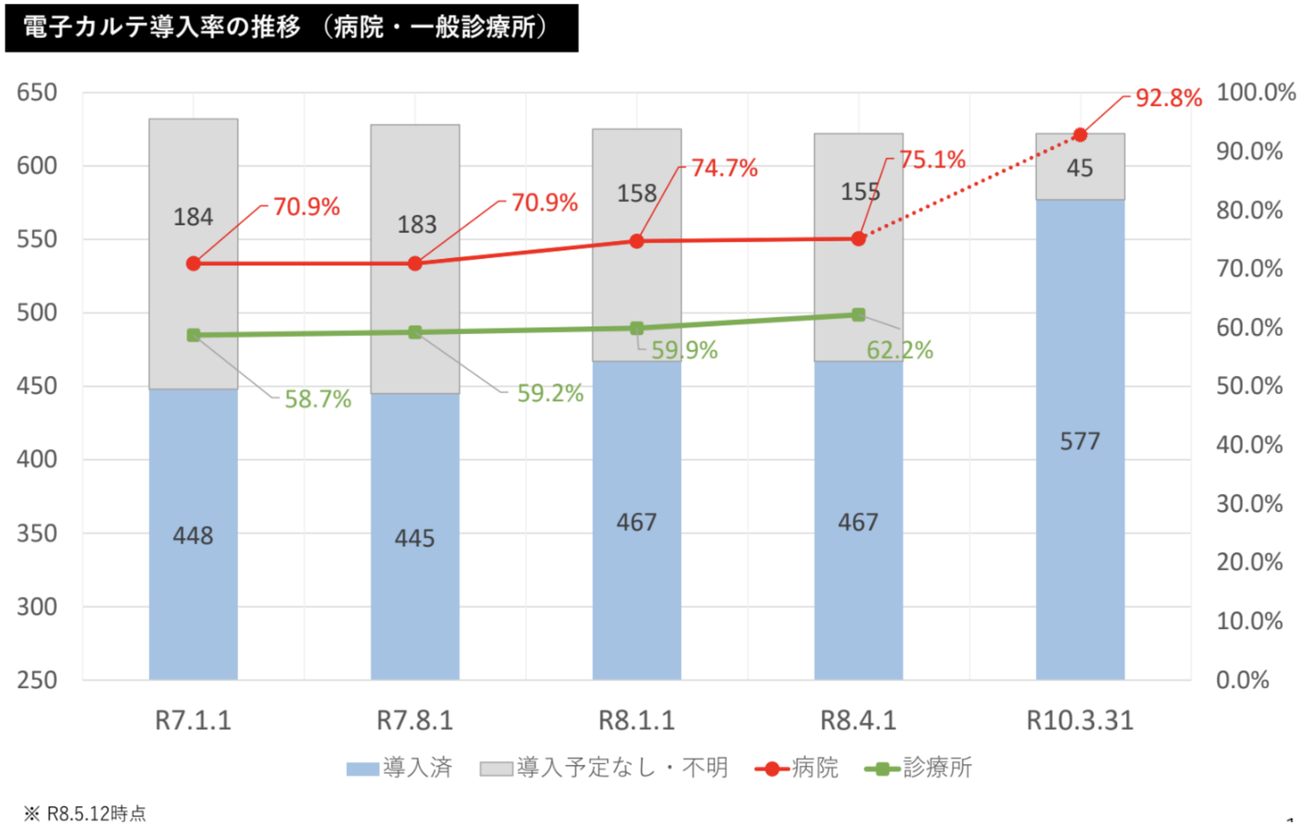
- D24Hの実施訓練を要望する

医療DXの推進

医療DXの推進

東京の電子カルテの普及率

- ☐情報共有のための基盤
  - ✓病院：75.1%
  - ✓診療所：62.2%



令和8年第１回東京都医療DX推進協議会

医療DXの推進

東京都医療DX推進協議会（2026年6月5日）

◻東京都医療情報連携基盤

- ✓道路・水道と同じ「公共インフラ」
- ✓国の基盤と歩調を合わせたもの
- ✓診断書等の申請、画像の連携等

▶患者・家族の利便性向上と病院の業務効率化

まとめ

7. 医療経営状況調査の継続と
   東京の医療レベル維持のための支援

8. 医療介護福祉をまとめた通信訓練の実施

9. 医療DXの推進